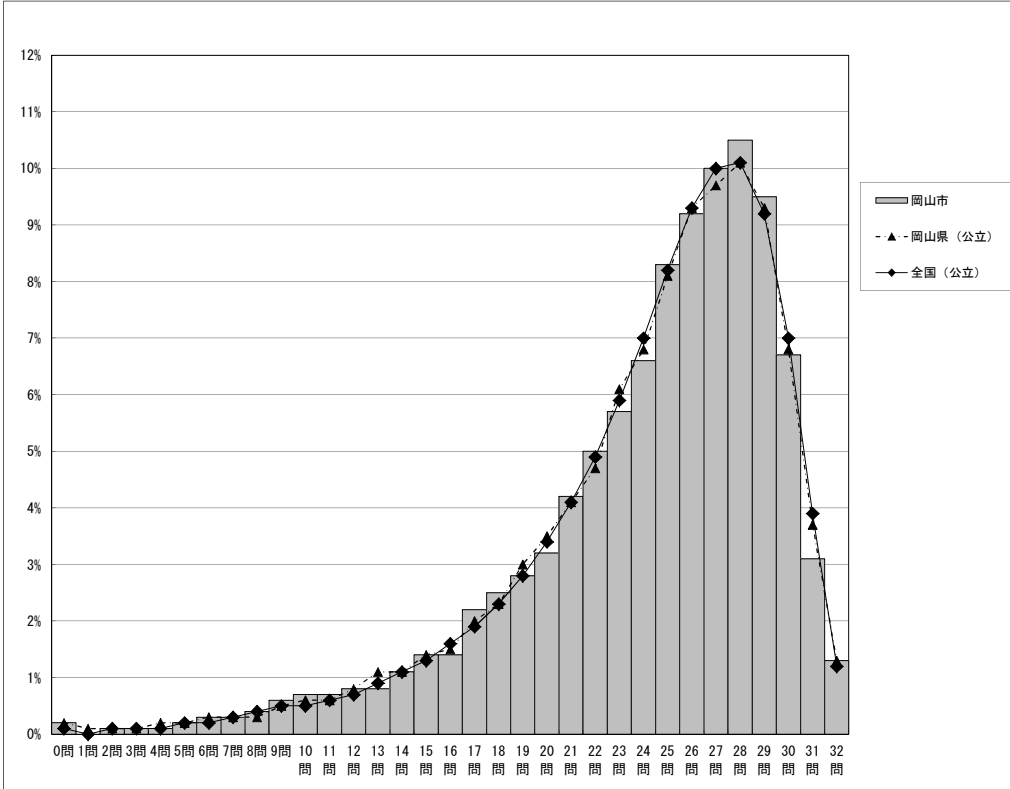


以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,535	24.2 / 32	76	26.0	5.4
岡山県（公立）	15,737	24.2 / 32	76	26.0	5.4
全国（公立）	966,764	24.3 / 32	76.1	26.0	5.3

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)		
	岡山市	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
32問	73	1.3	1.3	1.2
31問	172	3.1	3.7	3.9
30問	372	6.7	6.8	7.0
29問	526	9.5	9.3	9.2
28問	583	10.5	10.1	10.1
27問	553	10.0	9.7	10.0
26問	507	9.2	9.3	9.3
25問	459	8.3	8.1	8.2
24問	364	6.6	6.8	7.0
23問	316	5.7	6.1	5.9
22問	277	5.0	4.7	4.9
21問	230	4.2	4.1	4.1
20問	178	3.2	3.5	3.4
19問	157	2.8	3.0	2.8
18問	138	2.5	2.3	2.3
17問	124	2.2	2.0	1.9
16問	78	1.4	1.5	1.6
15問	77	1.4	1.4	1.3
14問	63	1.1	1.1	1.1
13問	45	0.8	1.1	0.9
12問	44	0.8	0.8	0.7
11問	39	0.7	0.6	0.6
10問	38	0.7	0.6	0.5
9問	31	0.6	0.5	0.5
8問	20	0.4	0.3	0.4
7問	18	0.3	0.3	0.3
6問	15	0.3	0.3	0.2
5問	12	0.2	0.2	0.2
4問	7	0.1	0.2	0.1
3問	5	0.1	0.1	0.1
2問	3	0.1	0.1	0.1
1問	1	0.0	0.1	0.0
0問	10	0.2	0.2	0.1

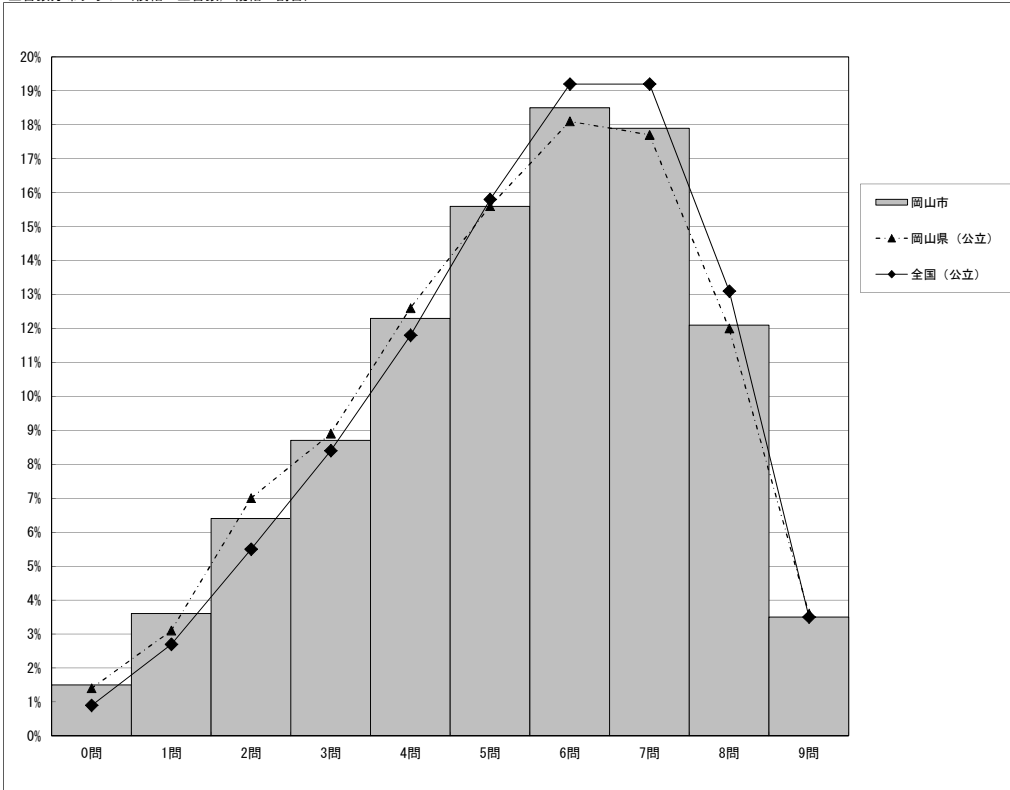
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	28.0問	28.0問	28.0問
◇ 第2四分位	26.0問	26.0問	26.0問
▽ 第1四分位	22.0問	22.0問	22.0問

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,537	5.3 / 9	59	6.0	2.1
岡山県（公立）	15,745	5.3 / 9	59	6.0	2.1
全国（公立）	966,786	5.5 / 9	61.2	6.0	2.0

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



正答数	正答数集計値			
	生徒数	割合 (%)		
	岡山市	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
9問	194	3.5	3.6	3.5
8問	668	12.1	12.0	13.1
7問	989	17.9	17.7	19.2
6問	1,022	18.5	18.1	19.2
5問	865	15.6	15.6	15.8
4問	680	12.3	12.6	11.8
3問	484	8.7	8.9	8.4
2問	356	6.4	7.0	5.5
1問	197	3.6	3.1	2.7
0問	82	1.5	1.4	0.9

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	7.0問	7.0問	7.0問
◇ 第2四分位	6.0問	6.0問	6.0問
▽ 第1四分位	4.0問	4.0問	4.0問

問題別調査結果 [国語A：主として知識]

岡山市教育委員会一生涯

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】 平成29年度 49 → 平成30年 50

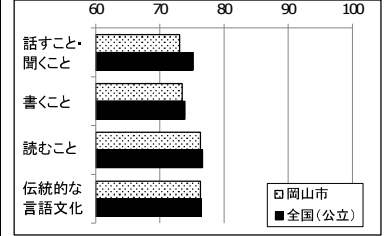
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)		市と国との 正答率の差
		5,535		966,764		
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			岡山市	全国(公立)		
全体		32	76	76.1	-5.0	+5.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.1	75.2	-2.1	
	書くこと	4	73.5	73.9	-0.4	
	読むこと	4	76.3	76.7	-0.4	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	76.3	76.5	-0.2	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	3	73.1	75.2	-2.1	
	書く能力	4	73.5	73.9	-0.4	
	読む能力	4	76.3	76.7	-0.4	
問題形式	言語についての知識・理解・技能	21	76.3	76.5	-0.2	
	選択式	21	75.9	76.8	-0.9	
	短答式	11	75.3	74.7	0.6	
	記述式	0				

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との 正答率の差	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)		岡山市教育委員会
1-1	スピーチの感想に対して先生が述べた言葉として適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ											85.9	87.4	0.2	0.1	(1.5)
2-1	図書だよりの下書きの構成を説明したものとして適切なものを選択する	書こうとする事柄のまとまりや順序を考えて文章を構成する		1 イ										88.2	89.5	0.4	0.3	(1.3)
2-2	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く		2 ウ										64.9	64.0	4.2	3.3	0.9
3-1	「それは掛けのない一、二秒の間のできごとである」を説明したものとして適切なものを選択する	文脈の中における語句の意味を理解する			1 ア									87.4	88.2	0.2	0.2	(0.8)
3-2	父と保吉の言動についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する			1 ウ									82.0	82.8	0.3	0.2	(0.8)
4-1	意見文の下書きに一文を書き加える意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討する		1 エ										62.3	62.8	0.4	0.2	(0.5)
4-2	段落の内容を入れ替えて書き直す理由として適切なものを選択する	段落相互の関係に注意し、読みやすく分かりやすい文章にする		2 エ										78.6	79.4	0.4	0.3	(0.8)
5-1	本文の第六段落の説明として適切なものを選択する	段落が文章全体の中で果たす役割を捉え、内容の理解に役立てる			2 イ									74.9	76.3	0.6	0.5	(1.4)
5-2	新聞紙の製造工程の一部を言い表したものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える			1 イ									60.7	59.5	0.5	0.4	1.2
6-1	話合いの際のメモのとり方の説明として適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える		1 オ										68.6	72.4	0.7	0.5	(3.8)
6-2	話合いの中で確認しなければならないことについての司会としての発言を書く	話合いの話題や方向を捉えて的確に話す		1 オ										64.6	65.8	15.1	13.3	(1.2)
7-1	場面に当てはまる語句の意味として適切なものを選択する(ハナイカダ)	語句の辞書的な意味を踏まえて文脈上の意味を捉える			1(1) イ(4)									87.3	87.3	0.8	0.6	0.0
7-2	「それでは」の働きとして適切なものを選択する	接続詞の働きについて理解する			1(1) イ(4)									87.6	88.4	1.0	0.9	(0.8)
8-1	漢字を書く(紙をひもで <b>タ</b> はねる)	文脈に即して漢字を正しく書く			2(1) ウ(4)									80.1	79.0	12.4	13.2	1.1
8-2	漢字を書く(舞台の <b>マ</b> が上がる)				2(1) ウ(4)									76.0	72.9	12.9	14.4	3.1
8-3	漢字を書く(先制点を <b>ユ</b> ルす)				2(1) ウ(4)									74.1	71.4	17.0	19.5	2.7

問題別調査結果 [国語A：主として知識]

岡山市教育委員会一生涯

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】 平成29年度 49 → 平成30年 50

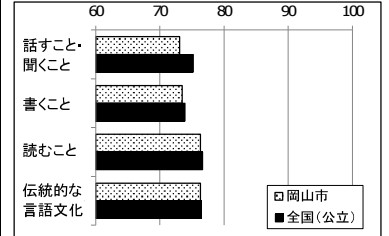
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)	市と国との正答率の差	
		5,535		966,764		
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差	
			岡山市	全国(公立)		
全体		32	76	76.1	-5.0	+5.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	73.1	75.2	-2.1	
	書くこと	4	73.5	73.9	-0.4	
	読むこと	4	76.3	76.7	-0.4	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	76.3	76.5	-0.2	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0				
	話す・聞く能力	3	73.1	75.2	-2.1	
	書く能力	4	73.5	73.9	-0.4	
	読む能力	4	76.3	76.7	-0.4	
問題形式	言語についての知識・理解・技能	21	76.3	76.5	-0.2	
	選択式	21	75.9	76.8	-0.9	
	短答式	11	75.3	74.7	0.6	
	記述式	0				

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)		岡山市教育委員会
8二1	漢字を読む(模型を作る)	文脈に即して漢字を正しく読む			2(1) ウ(7)					○	○		95.9	95.7	2.0	1.9	0.2	
8二2	漢字を読む(池の水が凍る)		2(1) ウ(7)						○	○			97.7	97.8	1.1	0.9	(0.1)	
8二3	漢字を読む(技を磨く)		2(1) ウ(7)							○	○			98.1	98.1	1.2	1.1	0.0
8三ア	適切な語句を選択する(立場の異なる両者の主張は終始一貫して変わらず、最後まで結論が出なかった)	語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う			1(1) イ(9)					○	○		76.4	77.7	1.0	0.8	(1.3)	
8三イ	適切な語句を選択する(魚の中には群れを作って泳ぐ習性をもつものがある)		2(1) イ(4)							○	○			91.4	91.0	0.7	0.5	0.4
8三ウ	適切な敬語を選択する(先生が私たちに大切なことをおっしゃった)		2(1) イ(7)							○	○			88.2	88.0	0.9	0.6	0.2
8三エ	適切な語句を選択する(彼はせきを切ったように話し始めた)		1(1) イ(9)							○	○			28.8	29.2	1.0	0.9	(0.4)
8三オ	適切な語句を選択する(意見の折り合いをつける)		1(1) イ(9)							○	○			62.7	61.8	1.0	0.9	0.9
8三カ	適切な語句を選択する(わたしが健康になったのは、ひとえに母のおかげです)		1(1) イ(9)							○	○			64.5	65.4	1.1	1.0	(0.9)
8三キ	適切な語句を選択する(姉はみんなと一緒に運動をすることが好きだ。一方、妹は一人で本を読むことが好きだ)		1(1) イ(3)							○	○			94.7	95.2	1.0	1.0	(0.5)
8四1	「心を打たれる」の意味として適切なものを選択する	慣用句の意味を理解する			3・4 (1)ア(4)					○	○		94.6	94.7	1.1	0.8	(0.1)	
8四2	「心を打たれた。」を文末に用いた一文を、主語を明らかにし、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかが分かるように書く	目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く			2(1) イ(9)					○	○		18.8	22.3	8.4	6.5	(3.5)	
8五	作品への助言として適切なものを選択する	行書の基礎的な書き方を理解して書く			1(2) イ					○	○		47.5	54.4	1.5	1.2	(6.9)	
8六1	『韓非子』の中の語句の訳を抜き出す(いはく)	古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉える			2(1) ア(4)					○	○		90.7	91.1	5.7	5.1	(0.4)	
8六2	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(とほさざるなし)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む			1(1) ア(7)					○	○		67.4	63.0	8.3	7.4	4.4	
8六3	『韓非子』の中で矛盾していることの説明として適切なものを選択する	古典に表れたものの見方や考え方を理解する			2(1) ア(4)					○	○		80.7	81.3	2.5	2.2	(0.6)	

無解答率 33 31

問題別調査結果 [国語B：主として活用]

岡山市教育委員会－生徒

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

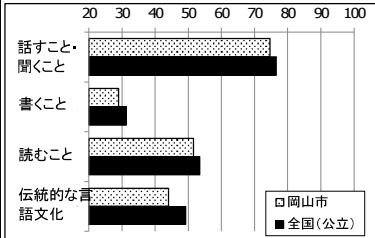
平成29年度 49 → 平成30年 49  
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)		
		5,537		966,786		
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差	
			岡山市	全国(公立)		
全体		9	59	61.2	-5.0 ▼	+5.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	74.7	76.6	-1.9	
	書くこと	2	29.0	31.3	-2.3	
	読むこと	6	51.6	53.5	-1.9	
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	44.1	49.2	-5.1	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	48.1	50.3	-2.2	
	話す・聞く能力	3	74.7	76.6	-1.9	
	書く能力	2	29.0	31.3	-2.3	
	読む能力	6	51.6	53.5	-1.9	
問題形式	言語についての知識・理解・技能	1	44.1	49.2	-5.1	
	選択式	6	64.9	66.7	-1.8	
	短答式	0			0.0	
	記述式	3	48.1	50.3	-2.2	

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点			問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)	
1一	グラフから分かることについて文章中で説明しているものとして適切なものを選択する	文章とグラフとの関係を考えながら内容を捉える		1					○	○			44.6	45.9	0.4	0.2	-1.3
1二	複数の辞書を引用して「天地無用」の意味を示す効果として適切なものを選択する	文章の構成や展開について自分の考えをもつ		1					○	○			62.5	64.3	0.5	0.2	-1.8
1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く	2	1				○	○	○		○	13.9	13.3	10.1	7.0	0.6
2一	二人の質問の意図として適切なものを選択する	質問の意図を捉える	1						○	○			84.8	86.8	0.4	0.2	-2.0
2二	二人に続いてする質問を書く	話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問する	1					○	○			○	86.4	88.3	8.9	5.9	-1.9
2三	ロボットに期待することを述べて発表をまとめる際の話の進め方として適切なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話す	1						○	○			53.0	54.6	0.7	0.4	-1.6
3一	登場人物についての説明として適切なものを選択する	場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する		1						○		○	78.3	80.2	0.6	0.4	-1.9
3二	文章中の表現について語った人物として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる		2						○		○	66.2	68.2	0.6	0.4	-2.0
3三	話のあらすじを学級の友達にどのように説明するかを書く	相手に的確に伝えるように、あらすじを捉えて書く	1	1	2	1		○	○	○	○	○	44.1	49.2	16.5	12.4	(5.1)

無解答率 43 3.0

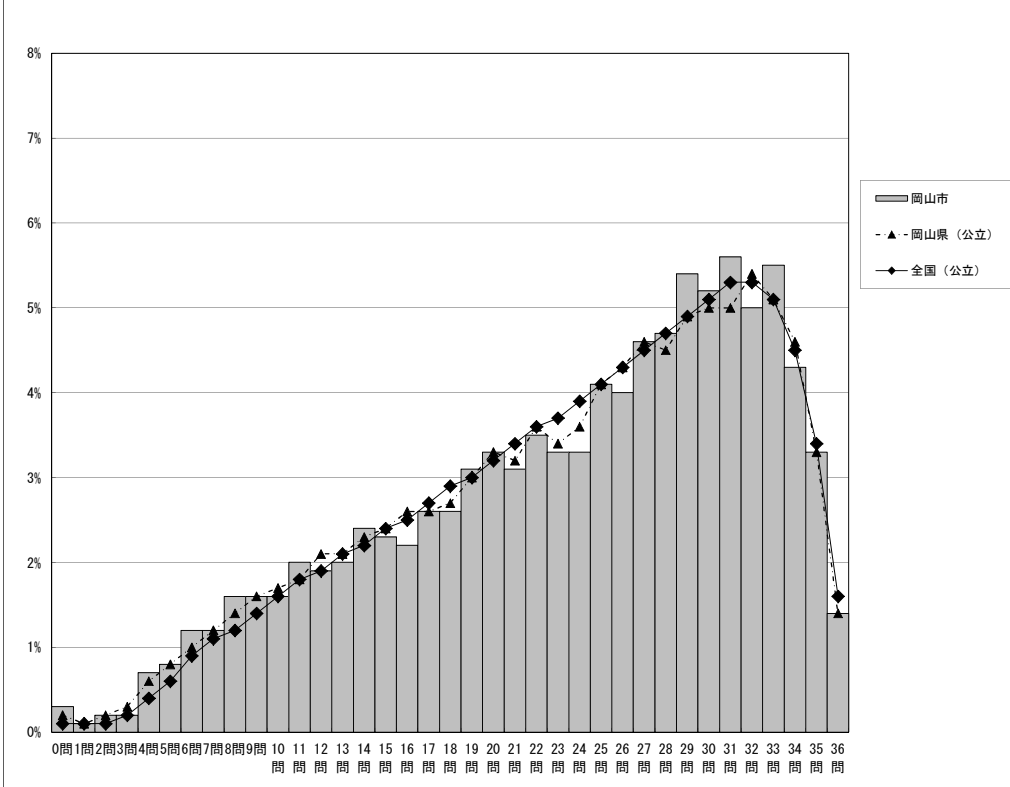
【調査結果から】

- ◆ 「目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く」設問では、20%未満の正答率であり、文の中における主語を捉えたり、主語を明示しながら適切に表現したりすることに課題が見られる。文を書く際には伝えたいことが相手に適切に伝わるように書けているか、文の成分の順序や主語と述語の照応などに着目して吟味するように継続的に指導することが大切である。(8四2)
- ◆ 「行書の基礎的な書き方を理解して書く」設問では、正答率が全国に比べ、約7ポイント低い。中学校では、社会生活に役立つ書写の能力を養うため、楷書よりも早く書くことのできる行書の基礎的な書き方を身に付けさせる必要がある。行書の特徴をふまえると同時に、どのようにすれば、行書の特徴を生かした書き方ができるか、また、行書の使用がどのような場面で有効かを生徒が主体的に考えられるよう配慮したい。(8五)

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,534	23.5 / 36	65	25.0	8.4
岡山県(公立)	15,742	23.5 / 36	65	25.0	8.3
全国(公立)	966,969	23.8 / 36	66.1	25.0	8.1

正答数分布グラフ(横軸：正答数、縦軸：割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数 岡山市	割合 (%) 岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
36問	77	1.4	1.4	1.6
35問	180	3.3	3.3	3.4
34問	236	4.3	4.6	4.5
33問	303	5.5	5.1	5.1
32問	275	5.0	5.4	5.3
31問	312	5.6	5.0	5.3
30問	287	5.2	5.0	5.1
29問	298	5.4	4.9	4.9
28問	259	4.7	4.5	4.7
27問	256	4.6	4.6	4.5
26問	224	4.0	4.3	4.3
25問	228	4.1	4.1	4.1
24問	185	3.3	3.6	3.9
23問	180	3.3	3.4	3.7
22問	191	3.5	3.6	3.6
21問	172	3.1	3.2	3.4
20問	184	3.3	3.3	3.2
19問	171	3.1	3.0	3.0
18問	142	2.6	2.7	2.9
17問	143	2.6	2.6	2.7
16問	121	2.2	2.6	2.5
15問	128	2.3	2.4	2.4
14問	133	2.4	2.3	2.2
13問	108	2.0	2.1	2.1
12問	106	1.9	2.1	1.9
11問	111	2.0	1.8	1.8
10問	87	1.6	1.7	1.6
9問	91	1.6	1.6	1.4
8問	89	1.6	1.4	1.2
7問	67	1.2	1.2	1.1
6問	64	1.2	1.0	0.9
5問	45	0.8	0.8	0.6
4問	41	0.7	0.6	0.4
3問	11	0.2	0.3	0.2
2問	9	0.2	0.2	0.1
1問	6	0.1	0.1	0.1
0問	14	0.3	0.2	0.1

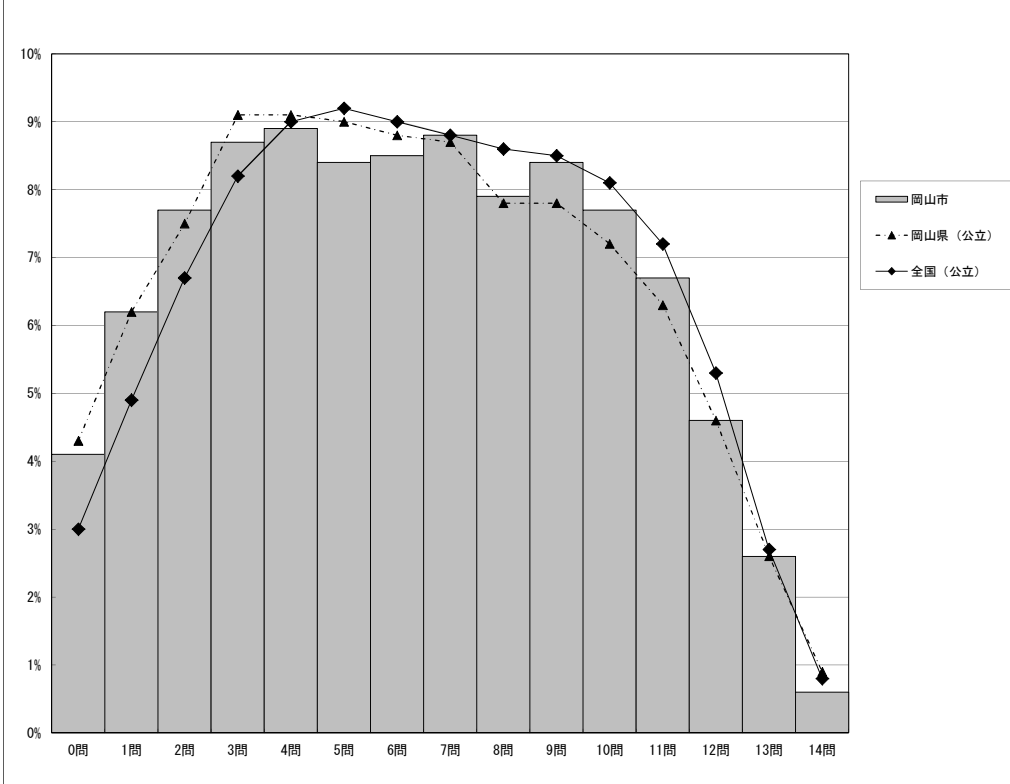
※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	30.0問	30.0問	31.0問
◇ 第2四分位	25.0問	25.0問	25.0問
▽ 第1四分位	18.0問	18.0問	18.0問

以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,535	6.3 / 14	45	6.0	3.6
岡山県(公立)	15,738	6.2 / 14	44	6.0	3.6
全国(公立)	966,908	6.6 / 14	46.9	7.0	3.5

正答数分布グラフ(横軸：正答数、縦軸：割合)



正答数	正答数集計値			
	生徒数 岡山市	割合 (%) 岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
14問	34	0.6	0.9	0.8
13問	146	2.6	2.6	2.7
12問	257	4.6	4.6	5.3
11問	372	6.7	6.3	7.2
10問	424	7.7	7.2	8.1
9問	466	8.4	7.8	8.5
8問	439	7.9	7.8	8.6
7問	487	8.8	8.7	8.8
6問	472	8.5	8.8	9.0
5問	466	8.4	9.0	9.2
4問	491	8.9	9.1	9.0
3問	482	8.7	9.1	8.2
2問	428	7.7	7.5	6.7
1問	342	6.2	6.2	4.9
0問	229	4.1	4.3	3.0

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県 (公立)	全国 (公立)
△ 第3四分位	9.0問	9.0問	9.0問
◇ 第2四分位	6.0問	6.0問	7.0問
▽ 第1四分位	3.0問	3.0問	4.0問

問題別調査結果 [数学A：主として知識]

岡山市教育委員会一生徒

・以下の集計値/グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

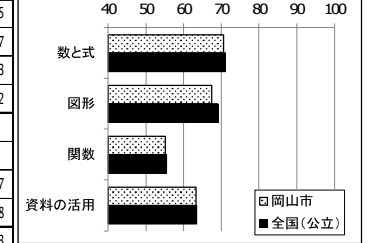
平成29年度 49 → 平成30年 49  
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)	
		5,534		966,969	
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体		36	65	66.1	-5.0 ▼ +5.0
学習指導要領の領域	数と式	12	70.6	71.1	-0.5
	図形	12	67.4	69.1	-1.7
	関数	8	55.2	55.5	-0.3
	資料の活用	4	63.3	63.5	-0.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	14	69.7	70.4	-0.7
問題形式	選択式	18	60.2	61.5	-1.3
	短答式	18	70.4	70.7	-0.3
	記述式	0			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)	岡山市教育委員会	全国(公立)	
1(1)	数直線上の点が表示する負の整数の値を読み取る	数直線上に示された負の整数を読み取ることができる	1(1)ア					○			○			94.8	94.6	0.8	0.4	0.2
1(2)	絶対値が6である数を書く	絶対値の意味を理解している	1(1)ア					○			○			74.2	69.0	6.1	7.3	5.2
1(3)	$2 \times (-5^2)$ を計算する	指数を含む正の数と負の数の計算ができる	1(1)ウ					○			○			69.1	68.9	1.6	1.0	0.2
1(4)	ある日の最低気温がその前日の最低気温からどれだけ高くなったかを求める式を選ぶ	ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量が正の数と負の数で表されることを理解している	1(1)7.1					○	○					53.1	54.2	0.4	0.1	(1.1)
2(1)	「1個 a kgの荷物3個と1個 b kgの荷物4個の全体の重さは15kg以上である」という数量の関係を表した不等式を書く	数量の大小関係を不等式に表すことができる	1(2)エ					○			○			44.7	41.5	9.8	8.5	3.2
2(2)	$6a^2b \div 3a$ を計算する	単項式どうしの除法の計算ができる	2(1)ア					○			○			89.3	91.0	3.7	2.4	(1.7)
2(3)	$a=3, b=-4$ のときの式 $a-2b$ の値を求める	文字式に数を代入して式の値を求めることができる	1(2)エ					○			○			76.8	78.5	6.3	4.8	(1.7)
2(4)	等式 $S = \frac{1}{2}ah$ を、aについて解く	具体的な場面で関係を表す式を、等式の性質を用いて、目的に応じて変形することができる	2(1)ウ					○			○			46.7	48.2	17.2	15.3	(1.5)
3(1)	一元一次方程式 $6x-3=9$ を解く際に用いられている等式の性質を選ぶ	方程式を解く場面における等式の性質の用い方について理解している	1(3)イ					○	○					59.5	64.0	0.8	0.6	(4.5)
3(2)	比例式 $x:20=3:4$ を解く	簡単な比例式を解くことができる	1(3)ウ					○			○			85.8	87.8	6.7	5.0	(2.0)
3(3)	連立二元一次方程式 $\begin{cases} 5x-2y=10 \\ 3x-2y=2 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ					○			○			78.4	80.0	6.2	4.6	(1.6)
3(4)	連立二元一次方程式をつくるために着目する数量を選び、式で表す	着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し、連立二元一次方程式をつくることことができる	2(2)ウ					○			○			75.2	75.2	1.0	0.6	0.0
4(1)	ひし形が線対称な図形か点対称な図形か選ぶ	ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している	小6(1)イ					○	○					64.9	67.1	0.5	0.3	(2.2)
4(2)	$\triangle ABC$ を辺ABが辺ACに重なるように折った線を作図するための線を選ぶ	折り目の線の作図と角の二等分線の関係を理解している	1(1)ア					○	○					53.4	54.9	1.0	0.8	(1.5)
4(3)	長方形ABCDを、点Aを中心として時計回りに90°だけ回転移動した図形をかく	回転移動した図形をかきことができる	1(1)イ					○			○			62.2	66.1	7.0	4.4	(3.9)
5(1)	直方体において、与えられた面に平行な辺を書く	空間における平面と直線との位置関係(面と辺が平行であることを)理解している	1(2)ア					○			○			73.7	74.3	2.3	1.4	(0.6)
5(2)	半円の直径を軸として回転させてできる立体の名称を書く	半円を、その直径を軸として回転させると、球が構成されることを理解している	1(2)イ					○	○					82.3	82.4	3.6	2.9	(0.1)
5(3)	与えられた円柱の見取図から、その円柱の投影図を選ぶ	見取図、投影図から空間図形を読み取ることができる	1(2)イ					○	○					83.8	83.7	0.6	0.3	0.1

問題別調査結果 [数学A：主として知識]

岡山市教育委員会一生徒

・以下の集計値/グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

平成29年度 49 → 平成30年 49

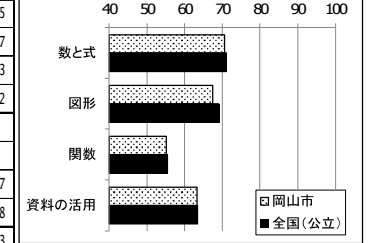
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)	
		5,534		966,969	
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体		36	65	66.1	-5.0 ▼ +5.0
学習指導要領の領域	数と式	12	70.6	71.1	-0.5
	図形	12	67.4	69.1	-1.7
	関数	8	55.2	55.5	-0.3
	資料の活用	4	63.3	63.5	-0.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	14	69.7	70.4	-0.7
問題形式	選択式	18	60.2	61.5	-1.3
	短答式	18	70.4	70.7	-0.3
	記述式	0			

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)	岡山市教育委員会	全国(公立)		
5(4)	底面の四角形が合同で高さが等しい四角柱と四角錐の体積の関係について、正しいものを選ぶ	四角錐の体積は、それと底面が合同で高さが等しい四角柱の体積の1/3であることを理解している	1(2)ウ												55.7	57.6	0.8	0.5	(1.9)
6(1)	三角形の外角を表す式を選ぶ	三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している	2(1)ア												70.9	71.4	0.7	0.4	(0.5)
6(2)	五角形の1つの頂点を動かし、角の大きさを90°に変えたときの内角の和の変化として正しいものを選ぶ	多角形の内角の和の性質を理解している	2(1)イ												73.4	75.7	0.9	0.4	(2.3)
7(1)	△ABCと△DEFが合同であるための条件として、正しいものを選ぶ	2つの三角形が合同であるために必要な辺や角の相等関係について理解している	2(2)ア												71.9	72.0	0.8	0.5	(0.1)
7(2)	長方形で成り立ち、ひし形でも成り立つことを選ぶ	長方形やひし形が平行四辺形の特別な形であることを理解している	2(2)ウ												73.6	78.2	0.8	0.5	(4.6)
8	対頂角は等しいことの証明について正しい記述を選ぶ	証明の必要性和意味を理解している	2(2)イ												43.6	45.5	0.9	0.6	(1.9)
9(1)	比例 y = 5x について、正しい記述を選ぶ	比例 y = ax における比例定数 a の意味を理解している	1(1)イ												64.3	65.5	1.4	1.2	(1.2)
9(2)	比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求める	与えられた比例のグラフから、xの変域に対応するyの変域を求めることができる	1(1)エ												54.0	55.0	13.4	13.0	(1.0)
9(3)	反比例のグラフから表を選ぶ	反比例について、グラフと表を関連付けて理解している	1(1)エ												54.7	52.8	1.5	1.4	1.9
10	点(-2, 3)の位置を座標平面上に示す	座標平面上に点の位置を示すことができる	1(1)ウ												70.5	69.9	3.5	2.9	0.6
11(1)	一次関数 y = 2x + 7 について、xの値が1から4まで増加したときのyの増加量を求める	一次関数 y = ax + b について、xの値の増加に伴うyの増加量を求めることができる	2(1)イ												43.6	45.3	16.9	14.8	(1.7)
11(2)	一次関数 y = -2x + 6 が表すグラフを選ぶ	一次関数 y = ax + b について、aとbの値とグラフの特徴を関連付けて理解している	2(1)イ												57.7	56.3	1.2	0.9	1.4
12	歩いた道のりと、残りの道のりの関係について、正しい記述を選ぶ	一次関数の意味を理解している	2(1)ア												36.7	36.4	1.2	1.0	0.3
13	グラフから、連立二元一次方程式の解を座標とする点について、正しい記述を選ぶ	連立二元一次方程式の解を座標とする点は、座標平面上の2直線の交点であることを理解している	2(1)ウ												60.0	62.7	2.0	1.9	(2.7)
14(1)	生徒35人の靴をサイズごとに調べ、最頻値が25.5cmだったことについて、必ずいえる記述を選ぶ	最頻値は、資料の中で最も多く出てくる値であることを理解している	1(1)ア												71.1	68.4	1.5	1.4	2.7
14(2)	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられた資料から中央値を求めることができる	1(1)ア												74.1	74.0	5.1	4.6	0.1
15(1)	1枚の硬貨を多数回投げたときの表が出る相対度数の変化の様子について、正しい記述を選ぶ	多数回の試行の結果から得られる確率の意味を理解している	2(1)ア												35.0	40.2	1.8	1.8	(5.2)
15(2)	大小2つのさいころを同時に投げるとき、和が8になる確率を求める	表などを利用して、確率を求めることができる	2(1)ア												72.8	71.3	10.0	9.7	1.5

\* 評価の観点は、数量や図形についての知識・理解(小学校)に対応させている。

無解答率 3.9 3.3



問題別調査結果 [数学B：主として活用]

岡山市教育委員会一生涯

・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

【偏差値】

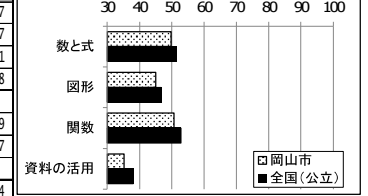
平成29年度 49 → 平成30年 49  
(平成32年度目標値50以上)

※岡山市教育振興基本計画における施策の成果指標

集計結果

対象生徒数		岡山市教育委員会		全国(公立)	
		5,535		966,908	
分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率(%)		市と国との正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体					
		14	45	46.9	-5.0 ▼ +5.0
学習指導要領の領域	数と式	4	49.7	51.4	-1.7
	図形	3	45.0	46.7	-1.7
	関数	3	50.7	52.8	-2.1
	資料の活用	4	35.2	38.0	-2.8
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	10	43.2	45.1	-1.9
	数学的な技能	4	48.6	51.3	-2.7
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	2	60.1	61.5	-1.4
	短答式	7	53.7	56.2	-2.5
	記述式	5	26.1	27.9	-1.8

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との正答率の差	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式	記述式	岡山市教育委員会	全国(公立)	岡山市教育委員会	全国(公立)		
1(1)	全校生徒300人に対する上位4曲を回答した生徒数の割合を求める	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量(3) 11.0イ									51.8	55.7	13.2	11.1	-5.0 ▼ +5.0 (3.9)
1(2)	放送計画で、1日目がA、2日目がBになる確率を求める	与えられた情報を分類整理し、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉えることができる				2(L) 7.4									41.0	43.9	8.7	7.0	(2.9)
1(3)	全校よりも1年生の回答用紙によるくじ引きの方が曲Fが選ばれやすいことの原因を確率を用いて説明する	不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる				2(L) イ									33.8	36.2	30.6	24.9	(2.4)
2(1)	はじめの数が10のときの計算結果を求める	問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる	1(L) ウ												87.3	89.5	6.3	4.4	(2.2)
2(2)	はじめの数としてどんな整数を入れて計算しても、計算結果はいつでも4の倍数になる説明を完成する	事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる	2(L) 4.9												35.0	37.5	31.9	25.0	(2.5)
2(3)	計算の順番を入れ替えたものを選択し、その計算結果が何の倍数になるかを求める	3つの計算の順番を入れ替えたときの計算結果を数学的に表現することができる	2(L) 4.9												66.9	68.3	1.4	1.1	(1.4)
3(1)	列車の運行のようが直線で表されていることの前提となっている事柄を選ぶ	事象を理想化・単純化することで表された直線のグラフを事象に即して解釈することができる				2(L) 4.4									67.0	67.6	0.7	0.5	(0.6)
3(2)	グラフから、列車のすれ違いが起こる地点のA駅からの道のりを求める	グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することができる				2(L) 4.4									73.2	77.7	9.6	6.9	(4.5)
3(3)	A駅からの道のりが6kmの地点において、列車Aが通ってから列車Bが通るまでの時間をグラフから求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる				2(L) 4.4									11.8	13.2	40.5	33.4	(1.4)
4(1)	証明されたことから、新たにわかることを選ぶ	証明を振り返り、証明した事柄を基にして、新たな性質を見いだすことができる	2(2) ウ												53.3	55.4	0.9	0.7	(2.1)
4(2)	平行四辺形ABCDの外側に2つの点E、Fを取っても、四角形EBFDは平行四辺形となることの証明を完成する	発見的に考え、条件を変えた場合について、証明の一部を書き直すことができる	2(2) 4.9												41.5	42.4	6.7	6.2	(0.9)
4(3)	平行四辺形ABCDを正方形ABCDに変えたときの四角形EBFDがどのような四角形になるかを説明する	付加された条件の下で、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2) ウ												40.1	42.3	27.3	24.6	(2.2)
5(1)	S社の団体料金が通常料金の何%引きになっているかを求める式を書く	与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる				小5 数量(3)									14.1	16.0	27.1	24.1	(1.9)
5(2)	通常料金をaとしたときの団体料金の10人分が通常料金の何人分にあたるかを求める計算からわかることを選び、その理由を説明する	里奈さんの計算を解釈し、数学的な表現を用いて説明することができる	2(L) イ												9.6	10.4	7.4	6.6	(0.8)

\* 評価の観点は、数量や図形についての技能(小学校)に対応させている。

無解答率

15.2 12.6

【調査結果から】

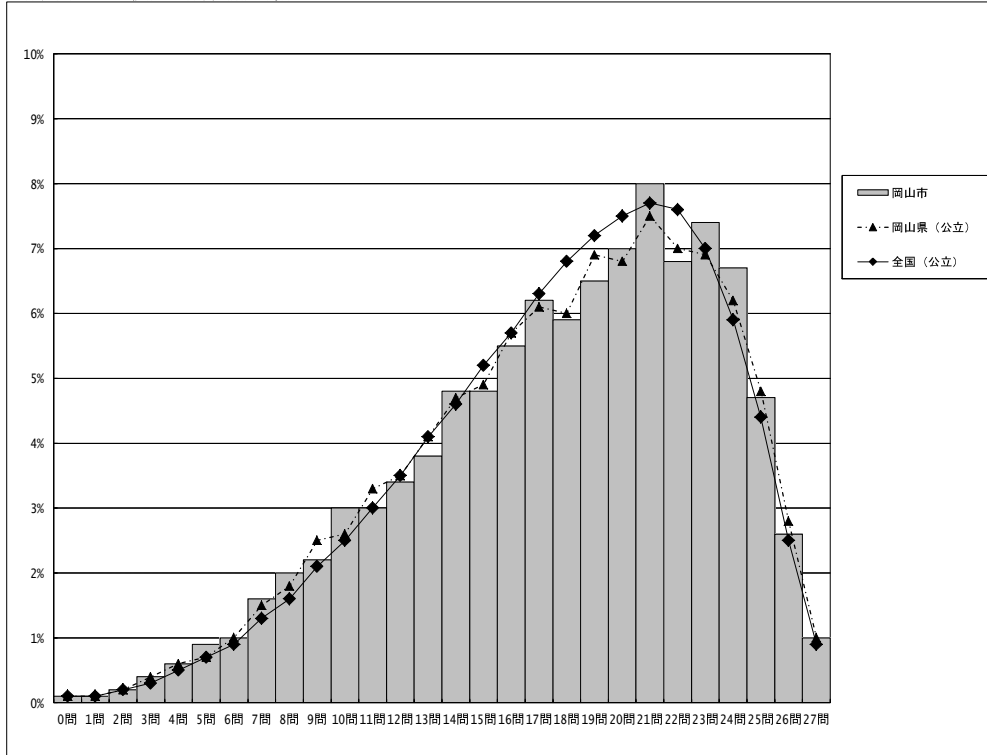
- ◆ 「図形」の領域において  
A7(2)の設問の正答率が、全国平均より、4.6ポイント下回っている。正方形、ひし形、長方形と平行四辺形の包摂関係の理解に課題がみられる。「平行四辺形になるための条件」などを手掛かりとして、正方形、ひし形、長方形、の間の関係を論理的に考察し、整理できるように指導することが大切である。
- ◆ 「関数」の領域において  
B3(3)の設問の正答率が11.8%と低く、無解答率が40.5%である。グラフから必要な情報を読み取り、事象を数学的に解釈することに課題がみられる。一次関数を用いて具体的な事象を捉えて考察し表現する際には、何を明らかにしようとするかという目的意識をもち、事象をどのように捉え数学の対象にするのかを明確にしたうえで、グラフの交点を事象に即して解釈できるように指導することが大切である。



以下の集計値/グラフは、4月17日に実施した調査の結果を、生徒を対象として集計した値である。

	生徒数	平均正答数	平均正答率 (%)	中央値	標準偏差
岡山市教育委員会	5,532	17.8 / 27	66	19.0	5.5
岡山県(公立)	15,739	17.7 / 27	66	18.0	5.4
全国(公立)	967,188	17.9 / 27	66.1	19.0	5.2

正答数分布グラフ(横軸:正答数,縦軸:割合)



正答数	正答数集計値		
	生徒数	割合 (%)	
	岡山市	岡山県(公立)	全国(公立)
27問	53	1.0	0.9
26問	146	2.6	2.5
25問	261	4.7	4.4
24問	368	6.7	5.9
23問	412	7.4	7.0
22問	375	6.8	7.6
21問	445	8.0	7.7
20問	389	7.0	7.5
19問	359	6.5	7.2
18問	325	5.9	6.8
17問	345	6.2	6.3
16問	303	5.5	5.7
15問	263	4.8	5.2
14問	266	4.8	4.6
13問	208	3.8	4.1
12問	188	3.4	3.5
11問	167	3.0	3.0
10問	164	3.0	2.5
9問	121	2.2	2.1
8問	108	2.0	1.6
7問	86	1.6	1.3
6問	53	1.0	0.9
5問	49	0.9	0.7
4問	33	0.6	0.5
3問	21	0.4	0.3
2問	12	0.2	0.2
1問	4	0.1	0.1
0問	8	0.1	0.1

※今回の調査での四分位は以下の通りでした。

	岡山市	岡山県(公立)	全国(公立)
△ 第3四分位	22.0問	22.0問	22.0問
◇ 第2四分位	19.0問	18.0問	19.0問
▽ 第1四分位	14.0問	14.0問	14.0問

### 【調査結果から】

- ◆ 主として「知識」に関する問題において、基礎的・基本的な知識の習得に成果が見られる。
  - ・ 生物的領域では、全国より平均正答率が1.1ポイント上回っている。観察・実験や日常の経験を通して理解する場の設定がなされているためと考えられる。(5(1), 9(1))
  - ・ 反対に、前述の場を設定しにくい原子の記号の表し方についての問いは、全国より平均正答率が4.1ポイント下回っている。指導に当たっては原子の記号を用いることの有効性に気付く学習場面を設定することが大切である。(8(1))
- ◆ 「記述式」の問いにおいて他の問題形式に比べ無解答率が高い。
  - ・ 台風の進路を決める条件を記述する問いでは、正答率は全国より1.3ポイント高いにもかかわらず、無解答率が全国を0.6ポイント上回る状態になっている。(3(3))
  - ・ アルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだす問題では、正答率が全国より、4.2ポイント低く無解答率は全国を3.2ポイント上回っている。探究の過程を振り返り、新たな疑問を見いだし探究を深めることに課題がある。解決した課題について別の条件から考えたり、今までの知識や経験と観察・実験の結果とを比較したりして、新たな疑問をもつように助言や問いを繰り返すことが大切である。(8(3))

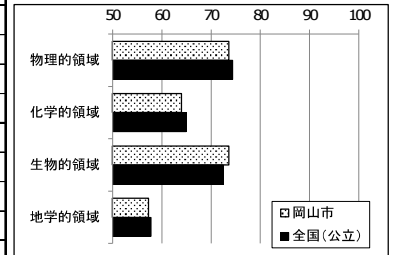
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	岡山市教育委員会 5,532	全国(公立) 967,188
-------	-------------------	-------------------

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		市と国との 正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体		27	66	66.1	-5.0 ▼ +5.0
枠組み	主として「知識」に関する問題	11	69.0	67.9	1.1
	主として「活用」に関する問題	16	63.0	64.9	-1.9
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域	7	73.6	74.4	-0.8
	化学的領域	8	64.0	65.0	-1.0
	第2分野 生物的領域	6	73.6	72.5	1.1
	地学的領域	7	57.3	57.8	-0.5
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	1	69.8	74.0	-4.2
	科学的な思考・表現	16	63.4	64.9	-1.5
	観察・実験の技能	4	67.6	67.0	0.6
	自然事象についての知識・理解	8	70.4	68.7	1.7
問題形式	選択式	17	70.4	70.9	-0.5
	短答式	4	73.1	70.2	2.9
	記述式	6	47.7	50.1	-2.4

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み	学習指導要領の分野等		評価の観点	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)		市と国との 正答率の差	
				主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題			岡山市教育委員会	全国(公立)	岡山市教育委員会	全国(公立)		
1(1)	光の反射を利用した「テレプロンプター」のモデルを作って科学的に探究する場面において、光の直進や反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用することができるかどうかをみる	光の反射の幾何光学的な規則性についての知識・技能を活用できる	○	○ <sup>(1)</sup> ア(7)		○	○	61.4	61.7	0.2	0.1	(0.3)	
1(2)		テレプロンプターモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明することができる	○	○ <sup>(1)</sup> ア(7)		○	○	72.6	73.7	0.3	0.2	(1.1)	
2(1)		理科通信のアサリに興味をもち、アサリが出す砂の質量は何に関係しているのかを科学的に探究する学習場面において、水溶液の濃さや無脊椎動物に関する知識、問題解決の技能を活用することができるかをみる	無脊椎動物と軟体動物の体のつくりの特徴に関する知識を活用できる	○			○	○	84.1	86.2	0.2	0.1	(2.1)
2(2) 低い濃度			濃度が異なる食塩水のうち、濃度の低いものを指摘できる	○		(2) イ(7)		○	○	75.8	76.5	1.9	1.2
2(2) 3.0%の濃度	濃度が異なる食塩水のうち、特定の質量パーセント濃度のものを指摘できる		○		(2) イ(7)		○	○	52.6	46.9	2.0	1.3	5.7
2(3)	「アサリが出した砂の質量は明るさに関係しているとはいえない」と考察した理由を指摘できる		○		(3) ウ(4)		○	○	78.8	79.7	0.3	0.2	(0.9)
2(4)	1つの要因を変えたとその他にも変わる可能性のある要因を指摘できる	○		(3) ウ(4)		○	○	57.1	61.3	11.9	9.5	(4.2)	
3(1)	コンピュータを使ったシミュレーションで台風の進路や風向を科学的に探究する場面において、日本の天気の特徴に関する知識と観測方法や記録の仕方に関する知識・技能、条件制御の知識・技能を活用することができるかをみる	風向の観測方法や記録の仕方に関する知識・技能を活用できる	○		(4) ア(7)		○	○	36.8	37.5	0.4	0.2	(0.7)
3(2)		太平洋高気圧(小笠原気団)の特徴についての知識を身に付けている	○		(4) ウ(7)		○	○	66.3	67.3	0.5	0.4	(1.0)
3(3)		シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる	○		(4) ウ(7)		○	○	53.6	52.3	8.5	7.9	1.3
4(1)	図書便りに紹介されていたファラデーの「ロウソクの科学」を読んで、ガスバーナーを使った燃焼を科学的に探究する場面において、実験器具の操作や化学変化と原子・分子、条件制御の知識・技能を活用することができるかをみる	ガスバーナーの空気量を調節する場所を指摘できる	○		(2) ア(7)		○	○	72.8	73.4	0.7	0.4	(0.6)
4(2)		炎の色と金網に付くススの量を調べる実験を計画する際に、「変えない条件」を指摘できる	○		(4) イ(4)		○	○	41.9	44.1	17.6	15.5	(2.2)
4(3)		化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明できる	○		(4) イ(7)		○	○	48.5	49.4	17.9	16.2	(0.9)
5(1)	「運転中に運転士に話しかけるとブレーキを踏むのが遅れるのではないか」という予想を科学的に探究する場面において、刺激と反応についての知識と自然の事象・現象を実験の装置や操作に対応させたモデル実験の知識・技能を活用することができるかをみる	神経系の動きについての知識を身に付けている	○		(3) イ(4)		○	○	72.8	57.2	5.8	7.1	15.6
5(2)		反応の時間を測定する装置や操作を刺激と反応に対応させた実験を計画できる	○		(3) イ(4)		○	○	60.4	62.8	0.6	0.5	(2.4)

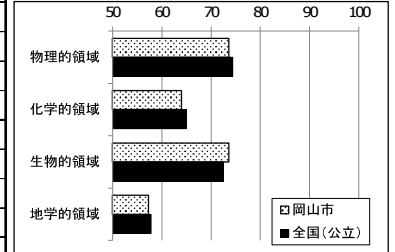
・以下の集計値／グラフは、4月17日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	岡山市教育委員会 5,532	全国(公立) 967,188
-------	-------------------	-------------------

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		市と国との 正答率の差
			岡山市	全国(公立)	
全体		27	66	66.1	-5.0 ▼ +5.0
枠組み	主として「知識」に関する問題	11	69.0	67.9	1.1
	主として「活用」に関する問題	16	63.0	64.9	-1.9
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域	7	73.6	74.4	-0.8
	化学的領域	8	64.0	65.0	-1.0
	第2分野 生物的領域	6	73.6	72.5	1.1
	地学的領域	7	57.3	57.8	-0.5
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	1	69.8	74.0	-4.2
	科学的な思考・表現	16	63.4	64.9	-1.5
	観察・実験の技能	4	67.6	67.0	0.6
	自然事象についての知識・理解	8	70.4	68.7	1.7
問題形式	選択式	17	70.4	70.9	-0.5
	短答式	4	73.1	70.2	2.9
	記述式	6	47.7	50.1	-2.4

<学習指導要領の領域等の平均正答率の状況>



問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合は、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	枠組み		学習指導要領の分野等		評価の観点		問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		市と国との 正答率の差		
			主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	第1分野 物理的領域	第2分野 化学的領域	第2分野 生物的領域	第2分野 地学的領域	自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		岡山市教育委員会	全国(公立)
6(1)		電流計は回路に直列に接続するとう技能及び電流計の電気用図記号の知識を身に付けている	○		(3) ア(7)				○	○	○			71.0	70.5	0.6	0.4	0.5
6(2)	自転車のライトの豆電球型のLEDが豆電球に比べて明るく点灯したことに疑問をもって科学的に探究する場面において、電流・電圧と抵抗及び電力と発生する光の明るさとの関係に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	実験の結果を示した表から電流の値を読み取ることができる	○		(3) ア(7)				○		○			74.0	77.2	14.3	11.6	(3.2)
6(2)	抵抗	オームの法則を使って、抵抗の値を求めることができる	○		(3) ア(4)				○		○			52.2	51.9	17.0	14.6	0.3
6(3)		豆電球と豆電球型のLEDの点灯の様子と電力との関係を指摘できる	○		(3) ア(9)			○			○			90.8	91.4	0.7	0.6	(0.6)
7(1)		地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身に付けている	○				(2) ア(4)			○	○			56.9	55.1	0.5	0.4	1.8
7(2)	緊急地震速報による避難訓練の後、地震を科学的に探究する場面において、地震の揺れの伝わり方や光と音の伝わり方に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる	緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる	○				(2) ア(4)	○			○			78.3	78.5	0.7	0.5	(0.2)
7(3)		初期微動継続時間の長さや震源からの距離の関係の知識と音の速さに関する知識を活用できる	○		(1) ア(9)		(2) ア(4)	○			○			93.4	94.4	4.4	3.6	(1.0)
8(1)		アルミニウムの原子の記号の表し方についての知識を身に付けている	○		(4) ア(4)				○	○				79.4	83.5	0.8	0.6	(4.1)
8(2)	火を使わないで発熱する商品の仕組みを科学的に探究して実験ノートにまとめる場面において、化学変化と熱についての知識と問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘できる	○		(4) イ(9)			○			○			71.1	72.0	0.7	0.6	(0.9)
8(3)	また、探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているかどうかをみる	探究の過程を振り返り、新たな疑問をもち問題を見いだし探究を深めようとしているアルミニウムは水の温度変化に関係していることについての新たな問題を見いだすことができる	○		(4) イ(9)		○	○			○			69.8	74.0	23.5	20.3	(4.2)
9(1)	部屋に見立てた容器に植物を入れて湿度の変化を科学的に探究する場面において、蒸散と湿度に関する知識、問題解決の知識・技能を活用することができるかどうかをみる	植物の葉などから水蒸気が出る働きが蒸散であるという知識を身に付けている	○		(1) イ(4)				○	○				88.5	88.0	0.7	0.6	0.5
9(2)		植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘できる	○		(4) ア(7)			○			○			15.5	19.4	23.6	21.4	(3.9)

無解答率 6.7 5.9